

'68 TALENT EDUCATION 才能教育

■ 第14回全国大会＝第16回卒業式

■ 昭和43年3月24日(日)午後1時

■ 日本武道館・東京九段

■ 主催・才能教育研究会

MARCH 24, 1968 1:00PM NIPPON BUDOKAN, KUDAN, TOKYO



準備委員 本多正明・田中金重・宮沢 進・広瀬八朗・牧野 晴・會 則道・松波碓四郎
 平田ひさ江・村松清江・水野明夫
進行・演出 宮沢 進・広瀬八朗・牧野 晴・會 則道
弦楽合奏指揮 近衛秀麿
ピアノ伴奏 鈴木静子・片岡治子・藤沼和美
アナウンサー 古村朋子

ビブラフォン 松崎竜生

🎵 ごあいさつ

会長 鈴木 鎮一

PRESIDENT=MR. S. SUZUKI



第14回、全国大会並びに卒業式に御光来いただきありがとうございます。

私共は、すでに20数年にわたり、みんなで、人の子の高い教育の可能性を信じ、どの子ども育つ教育法の追求に努力して参りました。新らしく、人間能力開発の道を拓こうとする人々、心を同じくする多くの指導者や会員の各位の努力によってつくられてきたこの実績は、今や世界の人々の注目を浴びることになって参ったのです。

常にわれわれの訴えようとするところのものは、
 1. 才能は生れつきではなく、育て方ひとつで育て得る人間の能力であること。
 2. 母国語の教育法によって、世界の子供達が、どの子どもそれぞれに言葉の優れた能力が開発されている事に気がつけば、総ての分野の人間の能力開発の道は、第1に先づ母国語の教育法の追求をなすべきであることを提唱し、教育法をつくり、実証して示そうとするのがわれわれのこの運動であるのです。

3. 又どの子ども育つ、育て方ひとつであることを訴えると共に、育てるべき苗時代に育てないですてておけば、駄目になることは人の子も草木も同様であることを社会に訴えること。等であります。

私共のこの訴えは、近年アメリカやカナダの教育界に大きな反響を生み、私共と共に新らしい人間能力開発の才能教育運動が、この二つの国に広がって参りました。

本日は、この全国大会に参加すべく、はるばると海をわたり、来日せられた教師及び親子の一同の方方に対して、私共は、その大いなる熱意に尊敬を払うと同時に、心から皆んなで歓迎いたしたいと存じます。

世界の総ての子供の幸せの為に、やがては世界の人々が手を取り合って、地上の美しき人の世の建設に努力し合う時が来るようにと、益々力を協せて努力して参りたいと存じます。



🎵 プログラム

開会の辞.....大会委員長 本多正明
 挨拶.....会長 鈴木鎮一
 卒業証書授与
 お祝いの言葉.....名誉会長 徳川義親
 卒業生の演奏.....ルーレ.....バッハ
 (卒業生退場)

バイオリン合奏

- 1 ソナタ ト短調 第一・第二楽章.....エックレス
- 2 協奏曲 イ短調 第一楽章.....バッハ
- 3 アレグロ.....フィオッコ

セロ合奏

- a キラキラ星変奏曲.....鈴木鎮一編
- b ロング・ロング・アゴー.....ベイリー
- c 白鳥.....サン・サーンス

絃楽合奏

- 小夜曲.....モーツァルト

バイオリン合奏

- 4 二つのバイオリンの為の協奏曲 第一楽章.....バッハ
- 5 協奏曲 イ短調 第一楽章.....ビバルディ
- 6 ユーモレスク.....ドボルザーク
- 7 二人のてき弾兵.....シューマン
- 8 ユーダス・マカベウスよりの合唱.....ヘンデル
- 9 メヌエット 第二番.....バッハ
- 10 無窮動.....鈴木鎮一
- 11 アレグロ.....鈴木鎮一
- 12 蝶々.....スペイン民謡
- 13 キラキラ星変奏曲.....鈴木鎮一編

全員合唱と合奏

- 蛍の光.....スコットランド民謡



🎵 PROGRAM

Greeting.....Chairman M. Honda
 Address President S. Suzuki
 Graduation Ceremony
 Words of CongratulationHon. President Y. Tokugawa
 Performance by Graduates
 LoureBach

Violin

- 1 Sonata g min. 1st & 2nd mov.Eccles
- 2 Concerto a min. 1st mov.Bach
- 3 AllegroFiocco

Cello

- a Twinkle, twinkle little Star-Variations.....arr. by S. Suzuki
- b Long long ago.....Bayly
- c The swanSaint-Saëns

String Ensemble

- SerenadeMozart

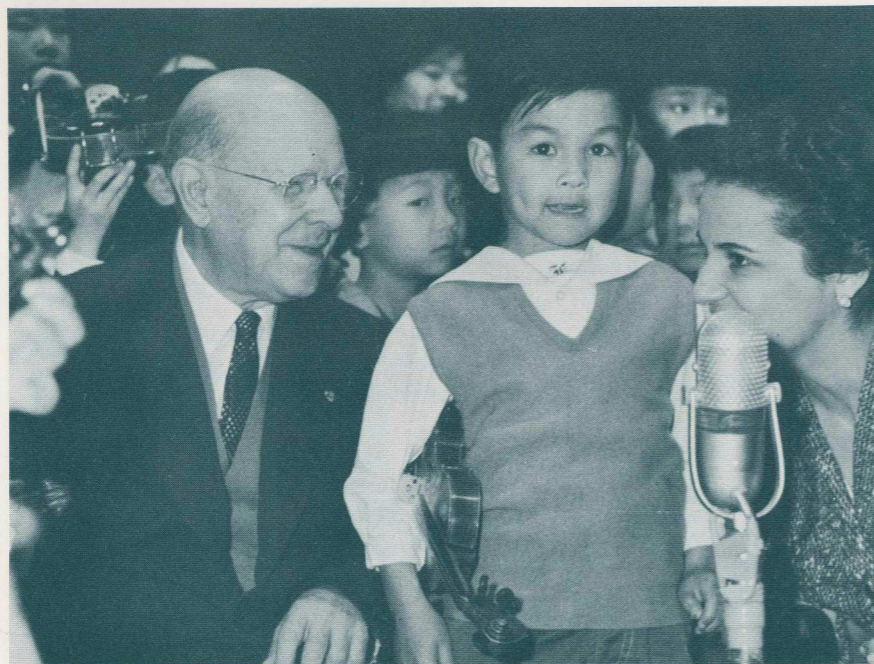
Violin

- 4 Concerto d min. 1st mov. for Two ViolinsBach
- 5 Concerto a min. 1st mov.Vivaldi
- 6 HumoresqueDvorak
- 7 The two grenadiersSchumann
- 8 Chorus from "Judas Macabeus,".....Händel
- 9 Menuetto No. 2Bach
- 10 Perpetuum Mobile.....S. Suzuki
- 11 AllegroS. Suzuki
- 12 Papillon Spanish folk song
- 13 Twinkle, twinkle little Star-Variations.....arr. by S. Suzuki
- 14 Auld Lang SyneScotland Folk Song





海外の芸術家のことば



カザルス先生御夫妻と子供たち(文京公会堂)

パブロ・カザルス

皆さん、私はいま人間が見ることのできる最も感動的な場面に列席しています。

私たちがいま見聞していることは、外見的に見られる事体より遙かに重要な意味をもっていると思われまふ。

私は、世界のどの国でも、このような限界にまで示された愛情と、誠実の心を見ることはできないと思います。私がこの国に来て感じたことは、よりよい世界へ到達したい心の要求が示されていることであり、人生の最も高貴なものに対する欲求でありました。

〈スペインの生んだ最高のチェリスト〉

ジョルジュ・デュアメル

いたいけない子供たちが、それぞれ小さなバイオリンを手にして現われたが、最初私はこれは何か子供じみた「遊びごと」だと思った。彼等はヴィヴァルディのコンチェルトを立派に弾いた……。なんと見事な驚くべきスペクタクルである。私は感激したと云うよりは

むしろ呆然とした。これこそ若き生命の完璧な姿である。

子供たちは、あどけない表情で次にバッハを弾いた。今度はポリフォニーであり、これは至難で、正確と洗練を必要とする技であるのに、これも立派に成功した。

このようなバイオリンの幼い芸術家たちが1,000人もいて、難かしいポリフォニーをやっているのけると聞いて驚いた。

正直なところ幼い子供たちが音楽でこれほど成功した技術を発揮した場合を初めて目撃した。

〈フランスの作家、文明評論家〉

レペシンスカヤ

才能教育のことはソ聯では有名です。小さなうちから規則正しく、熱心に学んでいるということを聞いていました。今回はからずも才能教育の生徒さんたちの素晴らしい演奏に接しまして、どんなに深い感動におそわれたことでしょうか。それは私の想像の及ばないものでした。

〈ソ聯のバイオリニスト〉



グリュミオー先生

アルトゥール・グリュミオー

才能教育の子供さんたちの演奏は、実に素晴らしい。鈴木鎮一氏のところから豊田耕兒さんや、志田とみ子さんのような勝れたバイオリニストがきているが、鈴木鎮一氏の指導法をみて、ことごとく納得できた。

〈ベルギーのバイオリニスト〉

イーゴリ・ベズロードニー

あのとてつもない子供たちによって編成されている合奏団は、一糸乱れぬ正確さで然も極めて音楽的に演奏するのである。

その前列には可愛らしい人形を思わせるような幼い子供たちが、真剣な顔で一息懸命に手を動かしている姿を見れば、恐らくどんな音楽家だって驚きの眼を見張らないではいられないだろう。

私は最初は、特定な天才児を育成するためにこの教育運動がなされているのだと考えていたのであるが、鈴木氏から次のような説明をきいて私の疑問は全く解消した。鈴木氏は

「私は音楽家を育てるためにこの運動をやっているのではないのです。このバイオリンの教育によって、子供たちが将来それぞれの方向に伸びてゆく才能の発展の上に、極めて大きな力を涵養することになるということを知ったからです」と。〈ソ聯のバイオリニスト〉

ルードウィヒ・ヘルシャー

才能教育のアイデアと、その実績をみてただただ驚嘆するばかりだ。

素晴らしいお仕事に対して、心からの尊敬と祝福を贈りたい。国に帰ったら鈴木先生のお仕事を参考にして、大いに研究したい。

〈ドイツのチェリスト〉

ボイド・ニール

このような事が可能だということは想像もしなかった。小さな時からこのような高尚な音楽に親しみを心得ることは尊いことです。

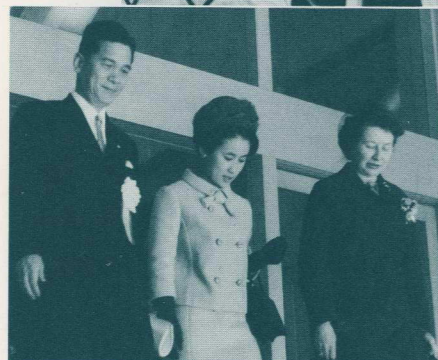
これは素晴らしい運動です。

〈イギリスの指揮者〉



アルバム

オISTRAFF先生の指揮で「無窮動」の演奏〔第13回大会〕▶



◀ 武道館へ御到着の常陸宮華子妃殿下〔第13回大会〕

キラキラ星の伴奏をひく鈴木会長▶



◀ 第三回訪米演奏旅行へ出発の一行 42・10・3



◀ 第12回大会に御臨席をいただいた秩父宮妃殿下。隣席は徳川義親名誉会長。

松本夏期学校出席と各地区の才能教育支部を見学のためにはるばる来日した、ASTA (アメリカ弦楽教育者協会)の60名の先生方。〔42・7・24 羽田空港〕



◀ 観衆の拍手にこたえるオISTRAFF氏と鈴木会長(第13回大会)

セロ教室生徒の演奏、曲目はデルブロアの「悲歌」〔第13回大会〕▶





プログラムから

《指導曲集を聴いて》

片山敏彦・治彦

「キラキラ光れ空の星、何ときれいなおまえたち……」英語でうたわれて私たちにしたいこのメロディーは、もとはフランスの民謡だそうですね。

主題がどれか一つの星だとすると、変奏曲は、主題の星の光にもなってまたたくいろいろの星のきらめきを描き出すかのようです。色や光のいくらかずつ違う星たちがつきつぎにきらめいて、冬の夜の、ひろい寒い空の中にうたいます。

変奏は音楽のかたちですが、私たちの毎日の生活の中には、気もちの変奏があって、光のつよい星みたいな気もちもあれば、淡い静かな光の星に似た気もちもあり、変奏曲はいろいろな光をつなぎながら先へ進んでいきます。

メヌエット第1、第2、第3はヨハン・セバスティアン・バッハが作った曲ですね。ベートーベンが、「和声の父」と呼んでたいそう尊敬したあのバッハは、今から270年前にドイツのアイゼナッハに生れてたくさんのりっぱな作曲をのこしました。

メヌエットはあの時代の舞曲のかたちで、いろいろの作曲家がメヌエットを作りましたが、バッハのこの曲のメロディーはいかにも新鮮で健康な感じがして、聴くたびにおちついたよるこびが心に湧いて来ます。

森の中で花の精たちが舞っている。樹々の葉のあいだから、青空の光の眼が、笑いながら、それをのぞき込んでいる。

あるいはまた、村の祭のたのしい踊りの様子も心にうかんで来ます。仕事をしながら口ずさむにもふさわしいメロディーを大バッハは私たちに与えてくれています。

ロング・ロング・アゴー（もう、ずっとずっと以前のことだ）ベイリーのこのメロディも親しいものです。

一人の老人がとおい以前の、若かったころのことを思い出しながら、森の夕方の道を一人で歩いている。するとひとりでいろいろな思い出が心に湧いてくる。悲しい思い出さえも、とおい昔の思い出となるとなつかしい。老人は、窓に灯のついている家に帰る。夜になって雪が降りだした。彼は炉ばたで子どもたちに思い出を話して聞かせる。壁には、老人と子どもたちとの影法師がうつっている……………

「二人の擲弾兵」のメロディーは、シューマンがハイネ作の、この題の詩につけたものです。この詩を私は訳したことがあります——

ロシアで捕虜になっていた
二人の擲弾兵がフランスへの帰路をたどっていた。
ドイツの宿までたどりつくと
二人は首をうなだれた。
二人はそこで悲しいしらせを聞いたのだ。
フランスはもう絶望だ。
大軍は敗走だ。
そして皇帝がとられのおん身になられた、と。

このなさないしらせを知って
二人の兵は男泣きに泣いた。

この詩はもっと長いのですが、この曲は、この二人の兵士の気もちを表わしています。その一人はこんなことを相手に言います——

おれが死んだらな
なきがらを、おれたちの愛する国フランスまで、
持ってってくれないか
どうぞ おれを フランスの土へ埋めてくれないか……………

ドイツの詩人ハイネがこの詩を書いたのは1820年でした。そのときハイネは大学生でしたが、故郷デュッセルドルフに帰省したとき、この町で二人のフランス兵を見ました。この二人はナポレオンの軍隊の兵でしたが、ロシアでの敗戦で捕虜になり、数年シベリアへ送られていて、それからフランスに帰る途中だったのです。

このハイネの詩にワーグナーも作曲しています。
「才能と教育」1959年3月号より抜粋



国連における“才能教育”

望月謙児

館ゆかりさんほか6人のエックレスのソナタが、流れるように均整のとれたボーイング、そして美しいヴィヴラートをもって奏し始められた時、国連のダク・ハマーショルド・オデトリウムは一瞬水を打ったように静かになりました。なかには既にハンカチを眼に押し当てて、じっと耳を傾けている人々も見受けられました。

こんなことが可能なのか？ 現実にあのソナタは6人の幼い子供たちによって奏されているのか？ これが当日の聴衆のひとりびとりが胸に抱いていた、いつわらない感想だったと信じます。

第2楽章を奏し終えた時、始めて我にかえった聴衆は全員起立して、万雷の拍手を贈りました。

そこへ5才の粕谷ひとみちゃん他、3名が可愛いパイオリンを抱えて6人の先輩に合流するためにステージに現われたのです。聴衆の間から、今度は溜めいきが聞えてきました。

バッハのメヌエット3番、つづいて力強いドッベルの熟演、そしてすみずみまで完全にマスターされつくしたヴィヴァルディのイ短調協奏曲を眼前にして、聴衆はただ啞然とするばかりです。

無理もないことです。古い常識で判断するならば、鈴木先生の成就なきことは奇蹟に等しいのですから……。

「私共は日本の子供のために最善を尽します。今日、この国連に集った世界各国の皆さん、どうぞ皆さんの国の子供たちの幸福のために真剣に考えて下さい。カザルス先生はかつて言いました。きっと音楽がこの世界を救うであろう……と」

鈴木先生の国連におけるこのスピーチは、10人の子供たちの素晴らしい演奏と共に、当日の聴衆の胸に強く強く訴えたのでした。

演奏後、楽屋にかけこんで鈴木先生をしっかと抱きしめて、「ミスター・スズキ、貴方こそこの世界を変えることの出来る人です。と涙を流しながら叫んだ6尺豊かなアメリカ人もありました。

いったい戦後日本から海外に派遣された人びとで、鈴木先生やこの幼い10人の子供さんほど、アメリカの聴衆を心の底から驚嘆させ、且つ感激させた人びとがあったでしょうか？

あるアメリカ人は、鈴木先生を称して「私欲を全く無視し、心から世界の子供たちの幸福を願う偉大なセイント（聖人）と呼んでいました。」 1964・3・27

〈ニューヨーク総領事館〉

才能教育研究会 / 支部・教室のお問合せは

■ 本 部 / 長野県松本市深志3-10-3 Tel 松本 (2) 7 1 7 1

■ 東京事務所 / 東京都中野区中野2-23-1ニュー・グリーンビル Tel 東京 (381) 2603・(381) 9552

■ 東海事務所 / 愛知県豊橋市吉田町148 Tel 豊橋 (3) 1 2 1 8